

令和6年第4回（4月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年4月25日（木曜日） 16時00分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 本館3階 小会議室

3 出席委員 教 育 長 長 友 義 彦 職務代理者 砂 川 功
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育次長兼教育総務課長	矢 野 徹
学校教育課長	山 本 敦 士	埴生幼稚園長	福 間 久美子
学校給食センター所長	吉 村 匡 史	社会教育課	山 本 修 一
中央図書館長兼厚狭図書館長	山 本 安 彦	歴史民俗資料館長	若 山 さやか
小学校長会長	下 瀬 昌 巳	中学校長会長	安 田 尚 弘
書 記	野 原 嵩 恵		

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

- ① 議案第11号 行政財産の所管換の申出について (社会教育課)
- ② 議案第12号 山陽小野田市青少年育成センター補導員の委嘱等について (社会教育課)
- ③ 報告第6号 令和5年度第2回社会教育委員会議の結果について (社会教育課)
- ④ 報告第7号 令和5年度第3回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について (社会教育課)
- ⑤ 報告第8号 国史跡周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋保存活用計画策定について (社会教育課)

(6) その他

- ① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)

② 市職員の人事について

(教育総務課)

③ その他

(7) 閉 会

開 会

○長友教育長

それでは定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による4月の定例教育委員会会議を開催いたします。

本日は委員全員出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。中村委員、末永委員よろしくお願いいたします。

会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議事日程中の「6. その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思います。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

賛成多数と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長友教育長

報告事項に入ります。まず私から。

新年度がスタートいたしました。委員会事務局も新しい職員が加わり、張り切っておるところです。今年度の本教育委員会のキャッチフレーズとして、「新化と発信」を挙げています。「新化」とは新しい物を目指しながら前へ進んでいくことです。教育委員会も様々なことにチャレンジしながら、本市の教育のさらなる充実に努めてまいりたいと思います。もう一つの「発信」ですが、積極的に教育委員会の取組を発信してまいります。教育委員会のウェブサイトにも「教育委員会活動レポート」を

新設すると共に、学校教育課では「CSレポート」も発信しているところです。掛け声だけにならないよう、教育委員会の「新化」そして「発信」を進めてまいります。学校においても「新化」と「発信」を求めています。19日に実施された校長会では教育にかかわる大きな変化、改革が進んでいる中、未来を生きる子ども達のウェルビーイングのため、まずは校長先生自身の「新化」を求めました。これまでの教育を総括し、これから求められる子ども達の資質能力について、様々な人との対話が重要であることを話しました。また新しいものを生み出すために、チャレンジし続ける姿勢を教職員・地域住民・保護者・子ども達に見せて欲しいということもお願いしました。「発信」についての重要性もお話しました。特に、地域との連携・保護者との連携を進めるためには、まずは学校を開くことが大切です。最上位の目標達成をするために、学校内外のリソースを活用し、学校・家庭・地域が連携しながら教育活動を進めてもらいたいことを話しました。

次に秋に実施される就学時健診についてお話しします。就学時健診はこれまで各学校での実施としておりましたが、就学する児童数の減少によりまとめて実施することも効率的であることから、数校まとめて実施するようにいたします。初めての取組でありますので、課題を検証しながら実施していきたいと考えております。

次に、部活動の地域連携・地域移行についてです。現在文化スポーツ推進課と学校教育課が事務局となり、山陽小野田市中学生の文化スポーツ活動体制整備協議会が開かれています。本協議会では6月頃を目途に、市の方針案について作成していく予定です。部活動の地域連携・地域移行に関わる大きな課題としては、子ども達の放課後の居場所の確保、つまり受け皿の確保、そして指導者等の確保です。その他にも課題はありますが、大きなものはこの二つだと考えております。関係する団体等との意見交換を十分に行いながら、山陽小野田市らしい体制が整うよう話し合いが続けられております。部活動の地域連携・地域移行が今まで実施していた部活動を、そのまま地域に任ずというものではありません。今後は子ども達がより主体的に選択し、自己調整しながら活動に関わることが求められています。学校では子ども達が自分自身をマネジメントする力をつけることが重要と考え、小学生のうちから少しずつ経験していくよう各学校にはお願いしているところです。

最後に教員の働き方改革についてです。これまでも学校教育の質を下げることなく子ども達に力を身に付けさせることを担保しながら、学校行事の精選・時程など様々なことを見直してきました。こうした中、2学期制ということについても研究を進めてまいりたいというふうに考えています。本市ではこれまで3学期制を取ってまいりました。2学期制にすることにより、通知表・始業式・終業式等が減ることになり、時間的な余裕も生じます。県内では光市が早くから取り組まれており、全国的にも取り組んでいる自治体は多くあります。こうしたことから本市においても課題等研究を進め、子ども達にも教員にもゆとりのある学校であることを目指していきたいと思います。

以上で私からの報告を終わります。何かご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

それでは続きまして藤山教育部長、お願いします。

○藤山教育部長

はい。報告の前に一言御挨拶申し上げます。この職に携わらせていただき3年目となります。2年目にあたる昨年度は課題解決のため様々な観点から検討したり、事務局職員の意見に耳を傾けながら、教育委員会と同じ方向に向いて事業を実施するように取り組んでまいりました。今年度はよりスケジュール感を持ちまして課題に向き合ってまいりたいと考えております。教育委員の皆さま、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

それでは私からは、今年度最初の庁議で市長が述べられました内容の一部について報告させていた

できます。

令和6年は任期の最終年であり、第2次山陽小野田市総合計画中期基本計画と一緒に進めている中で、いい結果を出していきたい。

この度民間の皆さまのお力によって「Aスクエア」という素晴らしい施設が誕生いたしました。これをハード面から考えると、完成時に一番価値があるが、ソフト面から考えると、皆が努力し力を注ぐと、時間の経過と共に価値がどんどん上がっていく。「まちづくり」とか「人づくり」とか「〇〇づくり」とするとゴールがあるようなイメージとなるので、あえて「まち育て」「人育て」という言葉で、このAスクエアを次の世代へバトンタッチし、次の世代の感覚で引き続き育てていかなければならない。

本市は行政だけでは限界があるので、市民や企業、団体等と協創によるまちづくりを進めている。「まち育て」「人育て」は全く同じ考え方で、この象徴的なものとして挙げられるAスクエア、地域運営組織、スマイルエイジングを育てていくことは、将来の本市、市民にとって有益である。庁議メンバーもこの目的、目標をよく理解し所属課と共有し全庁的に育てていくことで初めて成果が出る。市民・企業・団体等にもこの思いを伝えて、一緒に取り組むことが大事。このことはそれぞれの部署の大切な事業についても同様である。

令和6年度山陽小野田市の発展にとって大切な年であり、皆さんの地道な努力の積み重ねによって大きな追い風になっている。この流れをさらに強化し推進していきたい。

市長はこのような強い思いを、新しい年度がスタートするにあたり述べられました。

私の方からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告について何かご意見ご質問はございませんか。

それでは続きまして矢野教育次長兼教育総務課長、お願いします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。改めまして4月1日付の人事異動で教育次長兼教育総務課長の任命を受けました。社会教育課から引き続きお世話になります。よろしくお願いいたします。この度の人事異動では浅川、熊野の両名が市長部局へ異動いたしました。熊野の後任といたしましては鈴木が課長補佐に、尼崎が施設係長として参っております。併せてよろしくお願いいたします。

それでは教育総務課から3点ほどご報告いたします。

1点目につきましては、令和5年度の教育総務課の主な事業でございます。

1件目は屋内運動場の照明器具のLED化改修事業です。小中学校の屋内運動場の照明器具は現在、水銀灯を使用しておりますが、令和5年度に引き続きましてLEDに順次更新していく事業となります。今年度につきましては有帆小学校、高千帆小学校、高泊小学校、高千帆中学校、竜王中学校を予定しております。

2件目につきましては、学校の和式トイレを洋式化にする事業でございます。今年度は須恵小学校の他赤崎小学校、高千帆小学校、本山小学校、高千帆中学校、小野田中学校の合計12基を洋式化する予定としております。

3件目は本山小学校の屋内運動場の外壁改修工事を実施することとしております。

4件目は理科教育の充実を図るため、国の補助制度を活用いたしまして小中学校に理科の授業で使用する備品を購入することとしております。

2点目につきましては共催後援の報告でございます。別紙でお配りしております共催後援の一覧を

ご覧ください。両面になりますが、この1か月間教育委員会が共催あるいは後援を承諾した行事等の一覧となります。ご覧いただけたらと思います。

最後に寄附採納についてです。これも別紙でお配りしております寄附採納一覧をご覧ください。去る3月11日に塩田賢二様から学校図書の充実を目的とした寄附がありました。現金1万円をいただいております。

教育総務課からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして何かご意見ご質問はございませんか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

中村委員。

○中村委員

はい。今、2番目にトイレの洋式化のお話がありましたが、山口県はトイレの洋式化は全国でどれくらいご存じですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

下位の方だったと思います。

○中村委員

はい。最下位に近いと思います。昨日、県教委の方で資料を見させていただいた。ただ、これは財源が伴うものだから、なかなか難しいのですが頑張ってください。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。現在、率にすると34.7パーセントの洋式化となっております。先ほど申しました12基を改修したとしても1.3から1.4パーセントの上昇しか見込めない状況で、今中村委員がおっしゃられたように財源を確保しながら進めてまいりたいと思っております。

○中村委員

お願いします。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい、砂川委員。

○砂川委員

トイレの洋式化に関することですが、私も長く教育委員をさせていただいていますけれども、この話は早くから私たちは言い続けていて。事業が進まなかったようですが、言うことだけは早くから言ってきました。

洋式化されたトイレを実際に体育館施設で使ってみたら、冬は寒くて、便器が冷たいのです。せっかくですから冬になったらふんわりと温かくなるように、上等な便器を入れていただきたい。本当に寒いですよ。体育館とかで使用するとびっくりします。子ども達がかawaiiそうだと思います。だから同じお金を使うのなら良いトイレを設置してもらいたいと要望します。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。しっかりと心に留めておきたいと思います。

○砂川委員

気が付いたことを意見しました。すみませんでした。

○長友教育長

その他よろしいでしょうか。

続きまして山本学校教育課長、お願いします。

○山本学校教育課長

はい。改めましてこの４月から学校教育課長となりました山本です。竜王中学校在籍中も大変お世話になりました。引き続きよろしくお願いいたします。

それでは学校教育課からご報告します。今年度も各学校では新しいメンバーを加え、新しい体制でスタートしております。４月８日さわやかな好天の中で満開に咲いた桜に彩られて、全ての小中学校で始業式が行われました。また、入学式は４月８日に有帆小学校、高千帆小学校、高泊小学校、出合小学校、松原分校を除く小中学校で行われました。今言いました５校については９日に全て実施されております。入学者数は小学校で４２８名、昨年度に比べ２４名の減。中学校は５１５名、昨年度に比べて２６名の増加となっております。私は４月８日に高千帆小学校の様子を見に行きました。早朝から正門周辺の落ち葉を掃除している教職員の姿、元気よく挨拶する児童、わくわくした面持ちで自分のクラスを確認している児童の姿を見て、気持ちよく新学期を迎えることができていることを実感したところです。

各校の校長先生方に始業式後１週間の様子を尋ねてみましたが、とても落ち着いたスタートが切れているし、前年度登校が難しかった子ども達も登校しているという報告をいただきました。各学校には新学期当初の子ども達の様子を十分に見守り、児童生徒・保護者に寄り添い、楽しく学校に来ることができるようにお願いしているところです。

さて、今年度も元気と笑顔あふれる学校の協創を基本方針として掲げて、学ぶ意欲と確かな学力の育成、思いやりに満ちた豊かな心の育成、未来を生き抜く健やかな体の育成を３つの柱として、学校教育活動を充実していきます。今年度は主に次の３点に注力して実践していこうと思います。１点目はＩＣＴを活用した個別最適で深い学び、協働的な学びの推進です。１人１台端末が整備され３年が経過しました。昨年度までは使うことや操作に慣れることを主な目標にしておりましたが、今年度は山口東京理科大学や山口大学、そして本市とパートナーシップ提携を結んだグーグル社の協力を得て発展的に使うことを目標に、クラウドを活用した情報や意見の共有などにより、協働的な学びを推進していくことにしております。なお、小学校社会科副教材となる「はっけん！山陽小野田」のデジタル版が完成し、４月から利用可能となっていることをご報告いたします。

２点目は安定したクラス運営と、教員の人材育成を目標として一つのクラスを複数の担任が受け持つ、チーム担任制の導入を進めてまいります。

３点目は厚陽小中学校における小規模特認校制度です。明日開催されます厚陽小中学校のＰＴＡ総会において、私が概要を説明することにしております。今後は来年度４月からの受け入れに向けて１０月から申請受付を開始する予定としておりますので、市内全域に周知を進めてまいりたいと思います。加えて本年度は中学校の教科書改訂の年になっておりますので、教育委員の皆様におかれましては改めてご案内を申し上げますが、教科書選定委員へのご協力をお願いしたいと思います。

以上でご報告を終わります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

それでは、山本社会教育課長お願いします。

○山本社会教育課長

はい。この4月に社会教育課に参りました山本でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（「お願いします」の声あり。）

社会教育課から花壇コンクールに関しまして2つご報告がございます。1つ目が春の花壇コンクールの審査についてです。4人の審査員の方々のご支援をいただきまして、4月9日10日の2日間をかけまして、32の団体や個人を対象に現地審査を行いました。私も何か所か同行させていただきましたが、どの花壇も市が苗を配布したキンセンカやノースポールがよく育っておりまして、綺麗に花が咲いておりました。10日の同日に最優秀賞、優秀賞、新人賞、特別賞の部門で計16の一般・学校・個人の方々の賞を決定しました。令和2年度の春の花壇コンクール以降で、通算3回の最優秀賞を受賞した花壇を、市のモデル花壇として指定することとしておりましたが、今回最優秀賞のうち、高泊小学校と個人の佐々木幸子様がその対象となりました。モデル花壇に指定された花壇につきましては、花壇を造るうえでの心がけなど、職員が取材をさせていただきまして資料として取りまとめて市のホームページ等に掲載し、今後参加者の皆さんの花壇造りの参考にしていただきたいと思いますと思っています。表彰式は5月7日（火）14時から中央図書館で行う予定となっております。

2つ目です。秋の花壇コンクールへの取組についてです。4月16日厚陽地域交流センターでサルビアとマリーゴールドの種まきを行いました。また、4月22日にみつば園内の畑を使って種まきを行いました。厚陽地域交流センターの花の苗の育成につきましては、地元の厚陽地区緑と花の推進協議会に委託しておりますが、当日は厚陽小学校5・6年生の児童の皆さんのほか、ふるさとづくり協議会女性部の方、老人クラブの方、その他有志の方々が集って作業を行いました。花の苗づくりを通して地域のそれぞれの団体が一緒になって行われており、大変良い取組であるなど、この度参加させていただいて改めて思ったところでございます。みつば園も同様で、先生方と施設の利用者の方々が一緒になって種まきの作業を行っておられました。今後厚陽地域交流センター、みつば園と共に苗の育成を図るため、花壇コンクールの参加者による草取り作業も順次実施する予定となっております。苗が順調に育ちましたら、6月中旬頃に花壇コンクール参加者に苗の配布を行う予定となっております。

報告は以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問はございませんか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

はい、中村委員。

○中村委員

今の花壇コンクールの話で、高泊小学校がモデル花壇として認定されるということですが、これは学校訪問をしたときに子ども達が一番花壇の手入れをしているのは高泊小だと、私は感じました。毎回先生方に聞いたら自主的に子ども達が花壇の手入れをしているそうです。朝早くから。その報告を聞いてなるほどなと思いました。以上です。

○長友教育長

はい。その他ございませんか。

私からもいいですか。コスモスの種も配布していると聞いたのですが。

○山本社会教育課長

秋の花壇コンクールの苗の配布の時には、中学生の市議会でもございましたが、コスモスの花を植えて市内を花いっぱいにして欲しい、というご意見がございましたので、秋の花壇コンクール苗の配布の時にはコスモスの種の配布も併せて行いたいと思っております。

○長友教育長

はい。小野田中学校でしたよね。小野田中学校生徒の発案で、ということで。

○山本社会教育課長

そうです。小野田中学校の生徒さんでした。

○長友教育長

はい、その他よろしいですか。

では続きまして福間埴生幼稚園長、お願いします。

○福間埴生幼稚園長

はい。埴生幼稚園です。この4月、人事異動により園長になりました福間久美子です。よろしくお願いいたします。

新年度の様子と行事の様子、園の取組の3点についてご報告いたします。

初めに園児の様子ですが、今年度は新入园児はおらず在园児14名でスタートしました。しかし新学期が始まって早々、発熱や咳等で欠席者が多く、なかなか全員が揃うことがありませんでした。今週からは状態が落ち着き始めて全員そろって元気に園庭を走り回ったり、虫を探したりを楽しんでいる様子が伺えます。

次に行事ですが、19日（金）にミニ運動会と父母会総会を行いました。ミニ運動会では泣く子はおらずかけっこや障害走をして楽しむことができました。父母会総会では今年度の取組についての報告がありました。昨日、24日は環境課主催のゴーヤの苗の植え付けに参加しました。7月にはゴーヤの収穫にも参加する予定です。子ども達が「ゴーヤを知ってる？食べたことある？」とインタビューされましたが、「ゴーヤを食べたことない、どんなものか知らない」という感じを受けました。私はずっと保育園に勤めていたのですが、保育園の子ども達は給食で食べています。ゴーヤチャンプルとかゴーヤのかき揚げとか。他の職員に聞くと、夏休みがあるからちょうど収穫時期に子ども達がいなくて、ということで食べる経験ができないということを知って、食べる経験をさせたいなと思い、明日、幼稚園の方でゴーヤの苗を植えてできれば6月の終わりか7月にでも実がなれば良いなと思っています。

続けて今年度の取組にもつながるのですが、今年度は1年を通して食育活動に力を入れていきます。食べることに意欲が見られない子どもが気になるということで、少しでも食べる意欲に繋がればという思いがあります。今月は園庭にフキが生えていたので、そのフキを使ってクッキングをしました。子ども達がフキを収穫し、皮をむき、茹でるという体験をしています。収穫したフキは給食でレンコンやニンジンと一緒にきんぴらにしてお弁当給食のおかずにして食べました。今後もこのように子ども達が実際に体験し、食に興味を持ち、食べる楽しさへと繋げていけるように保育をしていこうと思っております。

報告は以上です。

○長友教育長

はい。それではただ今の報告に関しましてご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

続きまして吉村学校給食センター長、お願いします。

○吉村学校給食センター所長

はい。4月1日の人事異動により学校給食センター所長を拝命いたしました、吉村と申します。よろしく願いいたします。

学校給食センターでは4月8日に学校給食の提供を開始しております。1日約5,000食、年間に約200日分の給食を提供することになりますが、安全安心の給食の提供に努めてまいりたいと思っております。

報告は以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問はございませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

はい。新学期1年生の給食が始まってから、保護者の方と一緒に給食のお手伝いを兼ねて入ったのですが、キャベツのつきものの時少ししか食べない子が多かったです。今の時点で残食というのはどのような感じですか。スタート時点で食わず嫌いで1年生はなかなか食べきれない状況があるのかな、と思うのですが、その辺りはいかがでしょうか。

○吉村学校給食センター所長

はい。給食調理員と栄養士等に聞いたところ、食べる量はカロリー計算で作られていますが、やはり1年生にとっては保育園や幼稚園の時に比べると、給食の量が多くなっているので残食は多いです。食べられないものもあつたりして、食わず嫌いもあり残渣が増えているのですが、これが9月頃になってくると改善されていくと分析しております。最初は残食が多いかもしれませんが、今後は変わってくるのではないかなと考えております。

○竹田委員

はい。分かりました。ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいでしょうか。

はい。それでは山本市立図書館長、お願いします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。図書館についてご報告申し上げます。市立図書館関係資料をご覧ください。

中央図書館《3月・4月行事報告》ですが、3月30日「第14回 共生のまちづくり講座」を開催いたしました。テーマは「目が見えなくなってきたもの」です。4月20日に「第52回サイエンス・カフェ」を開催いたしました。

そして《4月・5月の行事予定》をご覧くださいければと思います。4月26日（金）図書館創発会議を開催いたします。図書館創発会議というのは図書館の新しい価値を創出しようということで、色々な方が集まってアイデアを出し合いながら実施していくという会議でございます。会場はAスクエアで午後7時から開催することとしております。4月28日（日）に「親子でブックハンター」を開催いたします。これは書庫の中に入ってお宝の本を見つけて借りていってもらおうという試みでありま

す。

厚狭図書館の《3月・4月行事報告》ですが、4月20日（土）に こどものつどい「ミュージカル山陽ありすの家」による『ブレーメンの音楽隊』」 を開催いたしました。そしてもう一つ、ここには書いていないのですが、報告事項としてこの度、山陽小野田市立中央図書館が令和6年度の子ども読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞しました。先日4月23日にその表彰式がございました。

図書館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問はございませんか。

○砂川委員

よろしいですか。

○長友教育長

はい。

○砂川委員

何度も言わせていただいているのですが、中央図書館長が言われたとおり、山陽小野田市の大臣表彰とか有帆小学校の内閣総理大臣賞を私が知っている限りでは2回も表彰されているんですね。大変な賞を毎年いただいているのですが、ここで終わってしまっているんですね。ここにきて賞状などを見せていただいて、皆でおめでとうと言ってあげたいです。それをぜひ実行して欲しいです。だから山本館長、みんなの前で見せていただいて讃えさせていただきたいですね。ご報告で終わってしまうのではなく。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

ありがとうございます。

○砂川委員

教育長、よろしくお願いします。

○長友教育長

はい。では次長、段取りの方をお願いします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

分かりました。

○長友教育長

その他、ございませんか。

それでは若山歴史民俗資料館長、お願いします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館からご報告いたします。

昨年度資料館はハード面の修繕事業等を無事完了することができました。なかでもエレベータ工事の更新がありまして、これも無事に終了し、2か月間ほど休館して工事が終了いたしました。このため昨年度は企画展を1回減らし3回の開催となっておりますが、令和6年度は企画展を4回に戻し開催いたします。主な企画展の内容ですが、おもてなし展、大田家古文書展、発掘展、絵葉書の魅力再発見の4つを企画しています。あと、これとは別に講演会を2回、厚狭毛利家に関する講演会とそれから浜五挺唐樋に関する講演会を企画しています。それと埴輪づくりの体験教室などを開催する予定となっております。

現在資料館では常設特設展示「１０分でわかる山陽小野田市の歴史」を展示しております。先日新聞の取材を受けネットの方にも掲載されております。また、銘菓「せめんだる」の復活のニュースがありましたが、元となる「せめんだる」が資料館の方に展示しておりますので、そちらをテレビ局の方が取材に来られまして報道される、ということがございました。

最後にお配りしておりますチラシについてです。５月１１日から「発掘された山口巡回展」を開催いたします。埋蔵文化財センターの名品を集めた展示や、山陽小野田市の松山窯跡出土品も展示いたします。記念講演会も開催いたします。

歴史民俗資料館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問はございませんか。

それでは小学校長会長、お願いします。

○下瀬小学校長会長

はい。小学校長会から３点ご報告いたします。

１点目は入学式・始業式に関することです。市内全小学校では４月８日に始業式が行われ、令和６年度がスタートしました。進級した児童はどのクラスになったのかを期待しながら登校していました。新しい教室で新しい仲間と新しい先生との出会いがありました。児童一人一人が自分の目標をしっかりと持って、様々なことにチャレンジし、健やかに成長することを願っています。また、月曜始まりとなった今年度は、８日と９日に分かれて入学式が行われました。小学校に入学することを心待ちにしていた１年生が輝かんばかりの笑顔で入学してきました。高千帆小学校では４月９日に入学式を行い、１０８名の児童が入学しました。式では１年生と保護者２名まで、６年生児童、来賓１名で体育館がいっぱいとなりました。１年生の輝く表情と我が子の入学の喜びにあふれた保護者の表情は、とても素晴らしいものでした。本年度は６年生も式に参加して１年生の入学を歓迎しました。保護者の方も２名で式に臨まれる方が多く、入学式の看板や満開の桜の木の下では写真撮影の列ができていました。

２点目は交通事故防止についてです。入学式翌日から登校や下校の様子を見ると、まだまだ不安なところがたくさんあります。４月は新入生が不慣れな道路で登校してくるために、集団登校での班の指導、そして１年生の下校指導は重要な安全指導となります。先週から今週にかけて雨の日が多く、心配をしましたが、各方面に教員が引率し、危険箇所や横断歩道の渡り方、左右の確認の仕方などその場その場で教えております。下校や登校については途中まで見送りや迎えに来られている保護者も多く、子どもの目線で交通安全を意識していけるよう声掛けをしております。

３点目は全国学力・学習状況調査についてです。４月１８日（木）には６年生の全国学力・学習状況調査と５年生の山口県確認問題が行われました。今年度は両方ともペーパーで行われております。児童は真剣に一つ一つの問題にじっくりと取り組み、長い文章をしっかりと読みながら質問に答えておりました。特に国語は長い文章が多く、オンラインのやり取りや物語文の意見を記述するものもありました。翌日１９日にはＣＢＴ（Computer Based Testing）によるタブレットを利用した質問紙の回答をしました。それから学校の質問紙も１８日までに回答することになっていました。質問紙の中にはＩＣＴの活用、国語・算数・理科・英語に関する指導状況だけでなく業務改善、小中連携、特別支援教育への対応、不登校対応、教職員の質向上に関する質問等、あらゆる項目の質問がありました。

最後に市の校長会では市内の学校運営に関する様々な課題解決に向け、市教育委員会の指導助言をいただきながら進めていきたいと考えております。学校行事や特色ある教育活動、市主催の研修会など校長会からも提案したいと思っておりますので、どうぞよろしくご指導いただきますようお願い申し上げます。

ます。以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問はございませんか。

○末永委員

はい。

○長友教育長

はい、末永委員。

○末永委員

はい。全国学力・学習状況調査が行われたということで、小中学校だったと思うのですが、色々な子ども達からテストを受けてきたというのを聞きました。中学校は特にテストの機会が多くてこれだけ受けさせてもらえて、保護者としてはありがたいなと思っております。ただ学校内のテストではなくて、県とか全国の統一のテストとなると結果の戻りが遅くて、タイムラグがだいぶあるかと思えます。やはり子どもたちはテストを受けると結果はもちろん、内容がすごく気になるようです。気になっている時になるべく早めにそのテストの振り返り、答え合わせみたいなことが、ポイントとなる問題だけでもいいのでそれができると、より日々の勉強に繋がるかなと保護者としては思います。帰ってくるのが何週間後なので、どのテストだったかなとなるようです。親も子も。やはりテストというのはやったらやりっぱなしというのはもったいないので、その振り返りが大切かなと思いますし、あとで持って帰ってきたテストを見ると今のテストは考えさせるとても良い問題も多いので、正答率が悪かった問題や、先生方が良いなと思われた問題なんかについては、改めてみんなで考えて解きなおしてみたりというのが授業であると、より次のテスト、あるいは日々の勉強に直結するのかなというふうに思いますので、テストを受ける機会が多くなっておりますので、振り返りや答え合わせを充実させて日々の勉強に繋げて欲しいなというのはすごく思います。何点とれたかの結果も大事なのですが、そうではなくてどこが取れなかったとか見直しの仕方というのが、コツコツと今後の勉強に繋がっていくと思いますので、ぜひその辺りを徹底していただけると嬉しいなと思います。

それともう一つ、学校給食センターさんの報告で残食の話が出たのですが、小学校の低学年の残食が特に担任の先生の声掛けでずいぶん変わってくるので、やはり子ども達は見たことのない食べたことのない物に手が出ない子が多いのですが、ちょっと先生の声掛けで一口食べてそれがおいしかったらもっと増えて・・・となるので、ぜひ声掛けだけでも。上手な先生はたくさんいらっしゃるの、ぜひそれをしていただきたいと思います。お願いします。

○長友教育長

はい。

○下瀬小学校長会長

はい。全国学力・学習状況調査と県の確認問題は、もう学校の中で一応採点は終わっています。県教委の方からどういう誤答が多かったかという資料をいただいておりますので、これからの授業の中で誤答について授業を進める、あるいは自分はここまでできていたけどここはちょっと分からなかった、こういうことが原因だったということを授業の中でやっていきたいと思っています。記述の回答についてはここまでできていたけど、この条件が足りなかったとか、たぶん分かっていると思いますのでそれを早めに返していくということ、今度はテストではなくて授業の中で行っていきたいと思っています。

それから残食についてですけれども、センター長が言われるように後半ではかなり少なくなるので

すが、初めは食べたことがないとか、どんな味が分からないとか、偏食がひどいという傾向がやはりあります。だから食わず嫌いにならないようにというのがあったかと思いますが、初めに美味しいよ、ということで食べていくことが大事なんじゃないかと思います。今年が一番最初の給食は、子どもにとっては少し抵抗がある給食で魚でした。回って見ましたが全部食べていました。これも担任の声掛けというのがあると思いますし、まず箸を付けてみるということが食欲に対する高まりになると思いますし、偏食を防ぐことにも繋がると思っています。以上です。

○長友教育長

はい。ありがとうございます。

○竹田委員

すみません、良いですか。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

先程の残食の件ですが、中に入って見させていただいて、スタートの時点から先生がその子の情報をちゃんと把握されていて、本人に「どお？どれくらい食べられる？」と細かい配慮をされていたのです。そういうことから徐々に徐々に繋がっていくのかな、と思います。そのように早い時点から把握されていることに、私は驚きました。素晴らしいなと思いました。以上です。

○長友教育長

はい。よろしいですか。

それでは中学校長会長、お願いします。

○安田中学校長会長

はい。4月から中学校長会長を務めます安田と申します。よろしくお願いします。

中学校長会から新年度の様子と行事関係について3件ご報告します。

まず1件目は、4月8日（月）着任式・入学式・始業式の実施についてです。満開の桜に見守られてそれぞれの式を行いました。2年生3年生については、やはりクラスが一番気になるということと、担任が誰かということが気になって、式も真剣に参加しており、担任が発表された際には拍手が出たり大声が出たりという状況でスタートしました。入学式については、本校においては新入生1名だけ参加できず式後の登校となりましたが、新入生120名の参加で入学式を行いました。来賓の参加はコロナが5類となりましたので、基本的には制限なしということで本校では学校運営協議会の委員、教育後援会の会長さんなど、他校においては、どの学校も特に関係のある団体の御臨席を賜りました。式後の学級活動にも全保護者が各教室に向かっていただいて、学級の様子を見ていただいております。1年生は、現在とても元気に学校生活を送り、挨拶等も大変大きな声ですごく元気に取り組んでおります。また、多くの学校では、今日までに生徒会が先輩との対面式や新入生歓迎の全校集会、部活動紹介等を行いました。現在は、1年生も部活動に参加しています。

2件目については、令和5年度の卒業生の進路についてです。4月中旬の段階では、進学先が全て決まった学校は2校のみです。本校においては、進学先が決まらない生徒は、今年度受験する生徒がいたり、または家居・アルバイトをしたりという生徒になっています。引き続き進路については家庭との連携を図っていきたいと考えております。

最後に4月18日（木）に実施された3年生の全国学力・学習状況調査と1・2年生の県の確認問題の実施についてです。3年生の全国学力・学習状況調査は、国語と数学で実施しました。数学にお

いては、計算問題がないということがあったので、子ども達にとっては少しショックだったようで、ほとんどが文章問題でした。１・２年生を対象とした県確認問題は、１年生が国語と数学、２年生がその教科にさらに英語を加えて実施しています。これらの調査は、学習活動の定着状況を把握する重要な機会と捉えております。結果を分析・検証し、学習指導の改善に努めてまいります。現在スタートしたばかりですが、子ども達が学校生活で次の目標が持てる、夢が持てる状況を教育委員会と連携しながら進めていきたいと考えております。

報告は以上です。

報告は以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問はございませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

どうぞ。

○竹田委員

すみません。小野田中学校の入学式に今年度初めて呼んでいただき参列させていただきました。感動したのは、執行部の皆さんが演台に上がって校歌を１０人弱くらいで、本当に見事に歌い上げて、新入生を迎えるという学校全体の雰囲気伝わってきて本当に素晴らしいなと思いました。私は色々とお話聞けるのもうれしいな、と思っております。よろしくお願いします。

○長友教育長

よろしいですか。はい、どうぞ。

○末永委員

中学校の入学式で色々な方から聞いたのが、小学校の時に不登校だったとか学校に行けなかったという子が、中学校の入学式には来ていたよ、と何人かに聞くことがあって、その後の授業にも出ています。今頃は少しまた休みがちになったとかも聞きますが、子どもにとっても保護者にとっても再スタートというか、「よし、やるぞ」という気に満ち溢れた時期だと思いますので、ぜひ繋ぎ留めて色々な方法で支援していただけたらありがたいなと思いますので、よろしくお願いします。

○安田中学校長会長

ありがとうございます。子ども達は小学校・中学校の節目という部分で新たな目標をもってくれます。今子ども達は前向きにやっておりますので、連休明けがどうかな、というのが一番気になる所です。その部分は、全体で気をかけながら進めてまいります。

○長友教育長

はい。ではよろしくお願いします。

その他よろしいですか。

次回の会議日程

○長友教育長

それでは（３）その他にはいります。

次回会議日程について、次長よりよろしくお願いします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

５月の定例会議の日時と場所をお決めいただきたいと思います。事務局といたしましては、５月２３日（木）午後２時から、山陽小野田市の市民活動センター、建物の通称は「Ａスクエア」と言いますが、こちらで行う案でお諮りします。

○長友教育長

はい。皆様よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり。）

はい、それでは次回はＡスクエアということでお願いしようと思います。

前半をこれで終了いたします。どうもお疲れ様でした。

１６時５３分休憩

１６時５７分再開

議案第１１号 行政財産の所管換の申出について

○長友教育長

それでは議事に移ります。議案第１１号「行政財産の所管換の申出について」社会教育課からお願いします。

○山本社会教育課長

はい。議案第１１号についてでございます。山下記念館解体工事の完了につきまして、この土地について行政財産の用途を廃止し、普通財産として山陽小野田市長へ所管換を申し出るものでございます。山下記念館は昭和８年に旧厚狭小学校の隣接地に建設された図書館で、厚狭小学校の移転に伴い昭和４７年に図書館機能も移転し、その役目を終えております。該当地につきまして資料を添付しております。３ページをご覧ください。山陽小野田市大字郡１３８０番２、厚狭の殿町で厚狭川の東側、山陽新幹線の北側でございます。地目は宅地、面積は２６４．６２平方メートルです。令和６年２月８日に開催されました市有財産活用検討委員会におきまして、山下記念館跡地につきましては売却を行うという結果になりましたので、山陽小野田市長へ所管換の申出を行います。

説明は以上です。

○長友教育長

はい。この件につきましてご意見ご質問等ございましたらお願いします。

ご異議がなければ採決に移ります。議案第１１号「行政財産の所管換の申出について」を原案どおり決することにご異議はございませんか。賛成いただける方の挙手をお願いします。

（全員挙手）

はい。全員賛成により可決されました。

議案第 1 2 号 山陽小野田市青少年育成センター補導員の委嘱等について

○長友教育長

次に議案第 1 2 号「山陽小野田市青少年育成センター補導員の委嘱等について」事務局説明をお願いします。

○山本社会教育課長

はい。議案第 1 2 号についてでございます。山陽小野田市青少年育成センターは、補導や青少年相談などを中心とした活動を行い、青少年の健全育成に寄与するための組織として設置しております。教育長が所長を務めておるところでございます。補導員は P T A や子ども会など、各校区の団体から推薦していただくと共に、小学校・中学校・高等学校の生徒指導の先生方にもお願いして、4 人 1 班の体制で補導活動を行っていただいております。本議案の補導員の委嘱につきましては、令和 6 年 4 月 1 日の学校の人事異動等に伴い異動のあった 2 名に対しまして、前任者の在任期間について補導員を委嘱するものです。新旧の名簿も併せて資料として記載しておりますので、ご確認をお願いいたします。

説明は以上でございます。

○長友教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等ございましたらお願いします。

ご異議がないようですので採決に移ります。議案第 1 2 号「山陽小野田市青少年育成センター補導員の委嘱等について」を原案どおり決することにご異議はございませんか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい。全員賛成により可決されました。

報告第 6 号 令和 5 年度第 2 回社会教育委員会議の結果について

○長友教育長

続きまして、報告第 6 号「令和 5 年度第 2 回社会教育委員会議の結果について」事務局、説明をお願いします。

○山本社会教育課長

はい。報告第 6 号につきましてご報告いたします。令和 6 年 3 月 1 日に本年度第 2 回目の社会教育委員会議を開催いたしました。当日は 1 3 名の委員の方々にご出席をいただいております。資料の 9 ページ 1 0 ページに会議録がございますので、ご覧いただけたらと思います。

まず報告といたしまして、「第 4 5 回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会」に参加いたしました社会教育委員と社会教育課長から、大会の概要につきまして報告を受けております。

続きまして議題として「令和 6 年度社会教育推進の指針」について審議しました。事務局から L A B V プロジェクトの核となる A スクエアの運用や、地域交流センターで取り組んでいる遠隔やオンラインによる教室の開催といったデジタル関連の事業の追加など、主な変更点の説明をしたところです。委員から、市の L A B V の取組についてや市の情報を紹介する S N S についてご質問やご意見がござ

いましたので事務局が対応したのち、最後に社会教育推進方針につきまして承認をいただきました。

その他事務局から令和6年度の主な社会教育関連の事業についてや、各地域交流センターの特色ある取組などを説明し、社会教育委員会議を終了しました。

説明は以上でございます。

○長友教育長

はい。この件に関してご意見ご質問等がございましたらお願いします。

よろしいですか。それでは採決いたします。報告第6号「令和5年度第2回社会教育委員会議の結果について」をご承認いただける方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。報告第6号は全員賛成により承認されました。

報告第7号 令和5年度第3回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について

○長友教育長

続きまして、報告第7号「令和5年度第3回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について」事務局、説明をお願いします。

○山本社会教育課長

はい。報告第7号につきましてご報告いたします。令和6年2月8日に本年度3回目の人権教育推進協議会を開催いたしました。当日は14名の委員の皆様にご出席いただき、主な協議事項につきましては、資料の12、13ページに会議録として付けておりますのでご覧いただけたらと思います。

まず人権教育、人権啓発に関する令和5年度の事業報告をしました。人権教育推進協議会は計3回実施し、山陽小野田市人権講座は市主催のもと、計4回実施しております。昨年度人権に関する作品募集を実施したときの優秀賞受賞作品を、中央図書館・地域交流センターに加えて、市役所正面入り口に設置しておりますデジタル掲示板において掲示を行ったことを報告しました。

次に来年度の事業計画について協議を行っております。大きな変更点については今年度の「ヒューマンフェスタさんようおのだ」が山口県主催の人権ふれあいフェスティバルと合同開催となることをご説明しました。来年度の事業実施に向けて委員の方から、人権作品への一般の応募が少ないことから、周知の方法を検討する必要があるのではないかというご意見がございまして、事務局から今後周知の方法につきまして検討することなどを回答しました。

最後にその他におきまして、情報共有として人権教育啓発事業について委員の皆様から令和5年度の成果とこれからの課題について報告を受けております。委員の方御本人の人権意識の向上や各地域・各団体において積極的に人権に関する取組を推進しているという声が出る一方で、参加者の年齢に隔たりがあり、ご高齢の方が多く若い方の参加が少ないという課題も挙げられておりましたので、今後対応について考えてまいりたいと思っております。

説明については以上でございます。

○長友教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等がございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。それでは採決いたします。報告第7号「令和5年度第3回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について」をご承認いただける方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。報告第7号は全員賛成により承認されました。

報告第8号 国史跡周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋保存活用計画策定について

○長友教育長

続きまして、報告第8号「国史跡周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋保存活用計画策定について」事務局説明をお願いいたします。

○山本社会教育課長

はい。報告第8号につきましてご報告いたします。浜五挺唐樋は周防灘における萩藩による開作の実態を示す貴重な遺跡であることから、平成8年に山口市の名田島新開作南蛮樋と共に国史跡に指定されているところでございます。この史跡を後世まで保存し貴重な地域の宝として守り伝えていくため、令和4年度に学識経験者や地元関係者で構成される計画策定委員会を設置し、2年間に渡り史跡に関する古文書の調査や現地測量など行いまして、史跡の本質的価値やその構成要素を明らかにしてきました。そして史跡を適切に保存管理するための取り扱い基準や、その価値を伝えていくための活用や整備の方針、さらに今後の運営・体制について定めた史跡保存計画書を策定いたしましたので、ご報告いたします。お手元に資料があると思いますが、後ほど回収させていただきますので、よろしくをお願いします。

説明は以上でございます。

○長友教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等ございましたらお願いします。

では採決いたします。報告第8号「国史跡周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋保存活用計画策定について」をご承認いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい。報告第8号は全員賛成により承認されました。

その他

県費負担教職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

その他

○長友教育長

次に（３）その他 です。何かございますか。よろしいですか。

閉 会

○長友教育長

それではこれで本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆さん、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

17時18分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和6年 4月 25日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印